

吹奏楽部創立10周年に寄せて

千葉工業高等学校 学校長 景 山 徳 二

本校恒例の吹奏楽を公演することになりました。本年で第5回になります。

何分にも工業高校においては、教科課程が多いために普通高校のように音楽の時間はとれませんし、放課後も時間がないので揃って練習することだけでも容易ではありません。幸いに荒川先生(現京葉工業高校教頭)のようなよい指導者を得て、曲りなりにもこうした会館で公演出来るように育つたこと嬉しく思っております。

然し現在は特別の指導者なしで上級生を中心に研究し、演習しております。随って演奏上の誤等も多々あるのではないかと存じますので、御来場の皆様は当吹奏楽クラブをお育て下さる意味でお気付の点がございましたら何卒御遠慮なく御指摘下され、御指導いただけますれば何よりと存じます。

本日は御来場をいただき衷心より御礼申し上げます。

創立10周年記念演奏会に寄せて

元千葉工高吹奏楽部顧問

京葉工業高等学校教頭

荒 川 一 郎

千葉工業高校の吹奏楽部が学校クラブ活動の一端として誕生したのは昭和27年4月でありますから、今年丁度創立10周年を迎えるわけであります。当時の校長の北村先生の依頼により私が編成に当り、当初12個の楽器を購入してもらって12人の部員でスタートしたわけですが、今日の隆盛な発展を見るにつけて誠に感慨深いものがあります。

35年4月以後は私の転任により生徒だけで自主的に演奏技術の研究、クラブ運営に当り立派な成果を挙げて居る様で何より喜ばしい事と思う次第であります。

昭和33年2月8日この教育会館を会場として第1回の定期演奏会を開催しましてから今日の第5回に至るまで県民皆様の絶大なる御後援により定期演奏会が毎回立錫の余地の無いほどの盛会を続けて居ります事は誠に有難い事と思つて居ります。

今後とも千葉工業高校の吹奏楽部に御支援を贈りますようお願いいたします。

御 挨拶

千葉工業吹奏楽部一同

本日ここに吹奏楽部創立10周年を記念して、第5回の定期演奏会を開くことになりました。

私達は吹奏楽を通じ、古典から現代、童謡からジャズまで、あらゆる音楽に接し、音楽的にも、又人間的にも学び、人格を高めることを念願に10年間精進しつづけて来ました。

本日はこの10年間の成果を荒川先生初め諸先輩の注意をもとに一生懸命演奏するつもりであります。

どうぞつたない演奏ではありますが最後まで御聴き下さるよう、御願ひ致します。又御批評、御指導を頂ければ無上の幸です。

プログラム立曲音楽会

指揮 成 川 良 一

I あ い さ つ

II 第一部

1. 行進曲「ジュビリー」

.....ゴールドマン作曲

2. 意想曲「アメリカン・パトロール」

.....ミーチャム作曲

3. 行進曲「木蔭の散歩道」

.....ゴールドマン作曲

4. 「威風堂々」

.....エルガー作曲

III 第二部

1. 行進曲「ウェリントン将軍」

.....ツエーレ作曲

2. 序 曲「インドの女王」

.....キング作曲

3. 組 曲「アルルの女」より フランドール

.....ビゼー作曲

4. 序 曲「ザムバ」

.....エロール作曲

後 援

千葉工業高等学校PTA

千葉工業高等学校生徒会

曲名一楽名・作曲者 既記著し(全 風 録)

IV 第三部

1. 行進曲「国民の象徴」

..... バグレー 作曲

2. タンゴ「ブルータンゴ」

..... アンダースン編曲

3. 「南太平洋」抜萃

..... リチャード・ロジャース作曲

4. 「ロンドンデリーの歌」

..... ワルターズ編曲

5. 「センチメンタル・ジャーニー」

..... ラング編曲

6. 「北上夜曲」

..... 荒川一郎編曲

曲名一楽名・作曲者 新 平 太 南

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

5

回

— 1962. 2. 3 —

千葉市教育会館

楽 譜 目 録

中 央 書 局

友 誼 社 会

〒100 (5) 117 銀座区千

楽 譜 目 録

中 央 書 局

〒100 (5) 117 銀座区千

「威風堂々」作品39 エドワード・エルガー作曲

エドワード7世の戴冠式に演奏されてから、イギリスはもとより各国で演奏されるに至った名行進曲である。輝やかしい行進曲の序奏が終ると有名な「希望と栄光の国」の曲調が壮重に鳴り響き、天地もさけんばかり高調する。この行進曲には5曲が編曲されているが、今日演奏されるのは第1番ニ長調が代表的で、最も多く演奏されている。

「アルルの女」第2組曲より ファランドール ビゼー作曲

アルルの女組曲は、フランスの文豪ドーデーの戯曲アルルの女に前奏曲、間奏曲、背景音楽等を作曲したものより4曲づつえらんで第1組曲、第2組曲となつたものです。

今日演奏するファランドールは第2組曲の最後にあたり、劇では第3幕祭りの日の場面を頭や衣裳に花を飾つた人々が賑やかに踊り狂う場面である。最初の主題はこの第1組曲の始めに出て来る「王の行進」である。これがカノン風に取扱われて反復されると、今度は軽快なファランドールがタンブリン、クラリネット、トランペット等の最弱奏に出て来るが、次第に楽器を増して力強く「王の行進」である主題も組合わせて交互に奏され、ついには同時に重なつてクライマックスを築く、情熱の輝きに満ちた曲である。

歌劇「ザムバ」序曲 エロール作曲

エロールはフランスの作曲家で18世紀から19世紀にかけて活躍した人で、数多くの歌劇、バレ音楽、交響曲、ピアノ曲を作曲しています。中でも代表的なものが歌劇ザムバで、今日はその序曲を演奏します。

ザムバというのはイタリア全国土をふるわせた海賊の頭領の名です。劇の荒筋は海賊ザムバがシシリー島の豪家ルガーノを捕えて人質とし、多額の身の代金を要求したが、ルガーノの愛娘カミールラの美ぼうにうたれてザムバは身の代金の代りに娘を所望するが、娘の許婚者アルフォンゾが苦心さんたんして、ザムバの野望が水泡に帰してめでたしめでたしと終る。

今日歌劇としては殆ど上演されていませんが、その序曲は快活なリズムと美しい旋律に充ちた華やかな名曲として世界中で盛んに演奏されています。

南 太 平 洋 リチャード・ロジャース作曲

ブロードウェイ最高の作家といわれるオスカー・ハマースタインとリチャード・ロジャースが組んで、ハマースタインが作詞、ロジャースが作曲して大ヒットをしたミュージカルブレイである。

このミュージカルは十数曲の名曲が演奏されるが、今日は「魅惑の宵」、「ワンダフルガイ」、「バリハイ」、「ご婦人が一番」を演奏します。

☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆

万年筆類の販売修理専門店

渡 邊 万 年 堂

国電駅前栄町通り
TEL (2) 5862

新刊書籍雑誌

株式 中 島 書 店
会社

千葉銀座 TEL (2) 2448